

稲沢市環境審議会（平成26年度第1回） 会議録

【日 時】 平成26年11月21日（金） 午後2時～3時30分

【場 所】 稲沢市環境審議会会議

【出席者】 稲沢市環境審議会委員（敬称略）

大島 宏之	稲沢市医師会
寺嶋 和義	稲沢市歯科医師会
鵜飼 繁	稲沢市薬剤師会
酒井 秀雄	愛知県尾張県民事務所
石田 敏治	稲沢市小中学校校長会
上田 能徳	稲沢商工会議所
近藤 尊敬	一般社団法人 稲沢青年会議所
森永 成郎	豊田合成労働組合
伊藤たか子	稲沢市連合婦人会
伊藤 一成	稲沢緑ライオンズ
松岡 重夫	平和町商工会
佐藤 正光	NPO法人 祖父江のホテルを守る会

【事務局】 加賀 雅行 経済環境部長
河村 英二 経済環境部次長兼環境保全課長
杉村 隆 経済環境部 環境保全課 主幹
宮崎 孝志 経済環境部 環境保全課 主査

【議事次第】

1 議事

- (1) 稲沢市環境審議会正副会長の選任について
- (2) 稲沢市環境基本計画に係る平成25年度市の取組実績について
- (3) 稲沢市環境基本計画に係る平成26年度市の取組計画について
- (4) 稲沢市地球温暖化対策実行計画に係る平成25年度実施結果について
- (5) 平成25年度「稲沢市の環境」について
- (6) その他

【会議の概要】

- ・事務局自己紹介
- ・委員自己紹介
- ・経済環境部長 あいさつ

稲沢市も、節電でエネルギー対策に取り組んで行くなか、環境問題は、市民の感心が高まっています。委員の皆様方から、より良いご意見を賜りますようお願い申し上げます。

1 議事

- (1) 稲沢市環境審議会正副会長の選任について

稲沢市環境基本条例第25条の規定に基づき、委員の互選により、会長に稲沢市医師会の大島宏之委員、副会長に稲沢商工会議所の上田能徳委員を選出。

[会長]

只今より、議事を進めます。皆様のご協力をお願いします。

議題「(2) 稲沢市環境基本計画に係る平成25年度市の取組実績について」及び議題「(3) 稲沢市環境基本計画に係る平成26年度市の取組計画についてについて」を関連がございますので、事務局から一括説明をお願いします。

[事務局]

資料に基づき、説明した。

○質疑応答

[委員]

ノーカーデーは、ホームページで掲載するだけで終わっているのか。実際に通勤に、バスを増やすとか、そういうことも行っているか。交通手段として、コミュニティバスを時間帯にだしてもらってれば、ノーカーデーに協力出来るのでは。

[事務局]

職員の出勤に際して台数が少ないほどCO2の削減になるノーカーデーの推進をしているが、公務災害の対象外になるため、積極的に推進していません。

[委員]

市民には、行えとっているのか。

[事務局]

ノーカーデーは、市民や職員向けにPRはしておりますが、通勤災害の面から義務付けまではやめて、自主的な活動として推奨しています。コミュニティバスの見直しと市民会議開催に合わせて増便して、公共交通機関を使っただけのような施策を行っています。

[委員]

交通手段がなくしかたなく車を使う人もあり、通勤時間だけでもバスを増やすなど積極的に行なえたらと思う、それをもって達成かなと思う。

[委員]

太陽光パネルの電力供給で、九州電力が電気を買わないとの報道がありましたが、この地域は、将来安定した供給が出来るのか。

[事務局]

愛知県においては、九州と比較し平野が多く太陽光に適している。送電線は、九州ほど不安定でない。愛知県では、今の太陽光発電がベストの自然エネルギーの導入であると考えます。

[委員]

太陽光エネルギーの電力供給拡大で、企業への補助は考えているか。

[事務局]

市民の住居に限っております。

[委員]

交通環境の整備で、常時パトロールは市が行っているか、職員が行っているか。

[事務局]

職員が、行っております。通勤の途中で見かけたら担当課へ連絡通報しております。

[委員]

大変ですね。有難うございました。

[委 員]

不法投棄撤去の関係で、パトロールするということですが、県の委嘱した地域環境保全委員さんとの連携を行っているのか。

[事務局]

県から委嘱された委員の窓口担当は、環境保全課で連携を取りながら行っています。稲沢市独自のさわやか隊2,200人でパトロール活動も行っています。

[会 長]

次に、議題（４）稲沢市地球温暖化対策実行計画に係る平成25年度実施結果について、事務局から説明をお願いします。

[事務局]

資料に基づき、説明した。

[委 員]

1 稲沢市の事務事業に伴う平成25年度、平成24年度、平成23年度、温室効果ガスの排出状況及び基準年度（平成17年度）同期比較表（明細）について、質問ではなく感想ですが、電気の使用に伴う二酸化炭素排出量は、半分をしめていますが、基準年に比較すると18%ほど増加しています。これは現在、原発が稼働していないため排出係数が大きくなっていることによるもので、電気使用量を基準年に比較すると逆に13%ほど減少しております。

また、自動車の総走行距離も22%ほど減少しており、稲沢市当局が節電・省エネルギーに努力していただくようにお願いします。

[会 長]

ほかに何かございますか。

[委 員]

ごみの焼却量が増えている理由は、何ですか。

[事務局]

ごみの焼却量が13.8%増となっている原因は、マヨネーズのような汚れたプラスチックを可燃物として取り扱うことに方針変更したためです。発電のごみカロリーが必要な点もあります。

[委 員]

ごみカロリーは活用されていますか。

[事務局]

焼却炉タービンにより発電を行っております。また、隣の老人福祉施設のお風呂のお湯を供給しております。

[会 長]

次に、議題（５）平成25年度「稲沢市の環境」について、事務局から説明をお願いします。

[事務局]

資料に基づき、説明した。

今回、新たに修正しました、差し替え版となっています。冊子となっていますので、目次より各状況を項目ごとに記載しております。

○質疑応答

[委 員]

PM2.5 についてですが、最近は、PM0.5 という話しが出てきていますが、PM2.5 と併せて今後、調査は、考えていますか。

[事務局]

PM0.5 の情報は、持ち合わせていません。PM2.5 は、肺に入って、人体に有害を与えるということで、問題となっています。PM0.5 についても調査研究させていただきたい。

[委 員]

水質汚濁の関係委で P 7 三宅川の BOD が平均で、17.4mg/l は何か原因はあるのか、三宅川の EM 菌放流は、どこで行っているのですか。

[事務局]

冬場、水量が少ない状況で、BOD の高い値がでました。
小正市民センター及び中高記念館で、毎週 1 トン放流、丁度、資料 8 ペーの⑥あたりで、稲沢北小学校も 1 トン放流しています。ただ、EM 菌の化学的データは、ございません。

[事務局]

資料 6 ページで三宅川の BOD の異常数値がみられますが、冬場の濁水が原因と考えられます。

[会 長]

次に、議題（6）その他で事務局なにかありますか。

[事務局]

特にございません。

[会 長]

ほかに何かご質問はありませんか。

[委 員]

2 点ほど要望があります。

ホームページへの公開について、昨年度のこの会議で、本審議会の議事内容の公開をお願いしました結果、市へのホームページへの公開をしていただくようになりましたことを評価いたします。欲を言えば Q&A 方式の表記でもう少し詳しくお願いできればと思います。

現在、審議会委員定数 20 人のところ、現在は、13 人ですが、まだまだ余裕があります。環境カウンセラーの活用について、環境省では、環境カウンセラー登録制度を設けています。全国で、3,000 人以上、愛知県では、160 人ほど、この稲沢市では、5 人の方が登録されています。さきほどの ESD の国際会議においても、各種イベントや市民啓発事業などに、環境カウンセラーの活用をお願いしたいと思います。

[事務局]

会議録には、分かりやすい内容で、掲載させていただきます。環境カウンセラーの活用については、市民啓発活動等に協力いただける方がみえましたら検討していきたい。

[委 員]

いなざわ市民会議と、環境審議会との関係を教えてほしい。

[事務局]

いなざわ環境市民会議と、環境審議会との役割分担は、環境基本計画の進捗管理のため、いなざわ環境市民会議を設置していて、市民の意見を市政に反映するものです。審議会においては、環境基本計画の策定見直しにおいて諮問、答申いただくという役割をになっただいています。

[委 員]

審議会としても、市民会議の議論を把握しておいた方がよい。市民会議で議論の審議会に情報提供していただくよう要望します。

[会 長]

ほかに何かございますか。

ご質問もなくなりました。これで、本日の議題は、全て終了いたしました。

これにて、稲沢市環境審議会を終了いたします。

以下余白